人文科学府　言語・文学専攻　修士課程　　人文科学府　言語・文学専攻　博士後期課程　　プログラム名：人文基礎

到達目標	到達目標			修士課程1年	修士課程2年
B-2-1.（知識・理解の深化と統合）専門分野の内容に関する深い理解と、学問固有の思考方法を獲得し、高度に専門的な知識を有機的に総合できる。 B-2-2.（独創性）新たな視点から問題提起を行い、それを解決するための方法を提示できる。 C.（他者を尊重する公平な姿勢）先行研究と自らの学説を批判的に討論し、自らの意見をより客観的視点から組み立て、他者の意見を尊重する、市民性のある公平な姿勢で論文を作成し、高度な学術研究に貢献することができる。	B-1.（知識・理解の深化と統合）専門分野の内容に関する深い理解と、学問固有の思考方法を獲得し、高度に専門的な知識を有機的に総合し、大きな規模で、提示できる。 B-2.（独創性）新たな視点から問題提起を行い、それを解決するための方法を体系的に提示できる。 C.（他者を尊重する公平な姿勢）先行研究と自らの学説を批判的に討論し、自らの意見をより客観的視点から組み立て、他者の意見を尊重する、市民性のある公平な姿勢で論文を作成し、その分野の学術研究を先導する貢献をすることができる。		＜共通＞	論文指導 修士論文	
A-2.（専修分野の知識と理解）国語学・国文学、中国文学、英語学・英文学、独文学、仏文学、言語学ないしはこれらの領域を横断する研究のうち一つを対象として、当該分野における研究史と方法論を説明できる。 B-1-1.（文献・データの収集・構築）言語・文学の領域に関する文献や一次資料、調査データを収集し、その結果を分析可能な資料体として構築することができる。 B-1-2.（言語データの分析）言語を対象とする領域では、収集した言語データを言語学的な方法論にもとづいて的確に分析し、文法的な構造や特徴を理論的に説明できる。 B-1-3.（文献の読解）文学を対象とする領域では、過去に蓄積された重要な文献、とりわけ古典を厳密かつ精確に読解し、先行研究を踏まえつつその内実を深く掘り下げて説明できる。 B-1-4.（表現力）他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、研究成果を学会における口頭発表や学術論文によって公表できる。 B-1-5.（外国語運用能力）外国語を取り扱う専門分野では、外国語の運用能力を高め、自らの専門的知識を表現できる。	A. 知識・理解（専修分野の知識と理解）国語学・国文学、中国文学、英語学・英文学、独文学、仏文学、言語学ないしはこれらの領域を横断する研究のうち一つを対象として、当該分野における研究史と方法論を体系的に説明できる。 B-3.（文献の読解力）文学を対象とする領域では、過去に蓄積された重要な文献、とりわけ古典を厳密かつ精確に読解し、先行研究を踏まえたテクストの解釈あるいは本文の校訂・注釈ができる。 B-4.（技能の統合）文献・データの収集・構築、言語データの分析、文献の読解の高度な能力を統合して、研究対象を深く考察することができる。 B-5.（外国語運用能力）外国語を取り扱う専門分野では、外国語の運用能力を高め、自らの専門的知識を表現できる。	日本・東洋文学	＜国文学・国語学＞	日本語学方法論特論I～IV、日本語学特論I～IV、日本語史特論I～IV、日本古代語史研究I～IV、日本近代語史研究I～IV、日本語史資料研究I～IV、日本文学特論I～IV、古代散文論特論I～IV、中世散文論特論I～IV、近世文芸史論特論I～IV、日本古代文学作品研究I～IV、日本中世文学作品研究I～IV、日本近世文学作品研究I～IV、日本近代文学作品研究I～IV	
			＜中国文学＞	中国文学特論I～IV（中国の古代中世文学についての文献購読・講義・演習）、中国文学特論V～VIII（中国の近世近代文学についての文献講義・講義・演習）、中国文学批評研究I～IV、中国古代中世文学作品研究I～IV、中国近世近代文学作品研究I～IV	
		西洋文学	＜英語学・英文学＞	英語学特論I～IV（英語統語論分析）、英語学特論V～VIII（英語意味論分析）、英語学研究I～IV（生成文法理論研究）、英語学研究V～VIII（認知言語学研究）、英語学特殊研究I～IV（ネイティブ教員による音声、音韻、言語の類型についての授業）、イギリス文学特論I～IV（イギリスの小説・散文）、イギリス文学特論V～VIII（イギリスの詩・劇）、イギリス文学特論IX～X（特定のテーマによるイギリス文学）、イギリス文学研究I～IV（イギリスの小説・散文）、イギリス文学研究V～VIII（イギリスの詩・劇）、イギリス文化研究I～IV（ネイティブ教員によるイギリス文化についての授業）、アメリカ文学特論I～IV（20世紀アメリカの小説）、アメリカ文学特論V～VIII（19世紀アメリカの小説）、アメリカ文学研究I～IV（アメリカの批評理論）、アメリカ文学研究IV～VIII（アメリカ文学史）、アメリカ文化研究I～IV（ネイティブ教員によるアメリカ文化についての授業）	
			＜独文学＞	ドイツ古典文学研究史特論I～IV、ドイツ近代文学研究史特論I～IV、ドイツ現代文学批評特論I～IV、ドイツ語学特論I～IV、ドイツ古典文学研究I～IV、ドイツ近代文学研究I～IV、ドイツ現代文学研究I～IV、ドイツ文学特殊研究I～IV	
			＜仏文学＞	フランス古典文学研究史特論I～II、フランス近代文学研究史特論I～IV、フランス現代文学批評特論I～IV、フランス古典文学研究I～II、フランス近代文学研究I～IV、フランス現代文学研究I～IV、フランス文学特殊研究I～X	
			＜西洋文学共通＞	西洋古典文学特論I～IV	
		言語学	＜言語学＞	言語基礎論特論I～IV、理論言語学特論I～IV、記述言語学特論I～IV、言語学特論I, III, V, VII（記述言語学）、言語学特論II, IV, VI, VIII（理論言語学）、実験言語学特論I～IV、言語基礎論研究I～IV、理論言語学研究I～IV、記述言語学研究I～IV、言語学研究法I～II、実験言語学研究I～IV	
A-1.（人文学と現代文化の理解）人文学の知識をもとに、現代文化のあり方とそれへの多様なアプローチを説明できる。			＜共通＞	現代文化論A～D	